

令和2年度12月補正予算案

I 規模

一般会計	9億3,636万円
特別会計	△7,863万円
企業会計	369億4,993万円
総額	378億766万円

※別に債務負担行為 48億1,840万円を設定

II 補正予算案の概要（主な事業の一覧）

1 一般会計補正予算案 9億3,636万円

(1) 新型コロナウイルス感染症に対応する本市の支援策 5億9,110万円

ア 介護・障害者施設に対する新型コロナウイルスPCR検査支援事業

1億8,000万円

介護・障害者施設での感染拡大防止のため、入所者や施設従事者に対してスクリーニング目的でのPCR検査を無料で実施するための経費。

イ 介護事業所等に対するサービス継続支援事業 1億4,400万円

利用者や職員に感染者が発生した場合等において、事業継続に必要な人員の確保や消毒・清掃などの対策に補助する経費。

ウ 北九州市立図書館サーマルカメラ設置事業 830万円

新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、市立図書館（全14館）にサーマルカメラを設置する経費。

エ 避難所における感染症予防対策事業 680万円

避難所において、発熱者等の専用スペースを確保するためのパーティションの設置や消毒液等の備蓄物資購入に要する経費。

オ 子ども向け電子図書館整備運用事業 1,400万円

タブレット等で電子書籍を検索・閲覧等できるような環境を提供するため、子ども向けの電子図書館を開設・運営する経費。

カ 市立高校タブレット端末整備事業 **1,700万円**
市立高校におけるICTを活用した教育環境を実現するため、生徒1人1台のタブレット端末整備に必要なソフト購入等に要する経費。

キ 中小企業融資信用保証料補填 **1億9,000万円**
3月から実施している景気対応資金融資（危機関連保証・セーフティネット保証4号）の大幅な増加に対応するため、保証料補填予算の増額を行うための経費。

(2) 公共事業の施工時期平準化の推進関連事業 **900万円**
(債務負担行為 9億1,000万円)

道路、街路、公園、市民センター空調整備など、来年度当初から施工できるよう時期を前倒しすることにより、一定の平準化効果が見込まれる事業について、債務負担行為を設定し、必要となる経費を計上。

(3) その他の事業 **4億4,077万円**

ア 新科学館整備事業 **3,000万円**
(債務負担行為 23億3,890万円)

令和4年4月に東田地区に移設する新科学館にかかる展示、内装、設備を整備する経費。

イ ふるさと寄附金促進事業 **3億8,800万円**
「ふるさと北九州市応援寄附金」について、当初の想定を超える寄附金額が見込まれることから、必要となる返礼品の調達等に要する経費。

ウ 養育費確保サポート事業 **130万円**
ひとり親家庭への養育費不払い解消に向け、養育費全般について相談をうけるアドバイザーを設置するとともに、公正証書等作成や養育費保証契約にかかる費用の一部を補助する経費。

(4) 人件費補正 **△1億451万円**

人事委員会の報告に基づく期末・勤勉手当支給割合の変更（△0.05月）等に伴い、一般会計における職員給及び特別会計に対する繰出金を補正するもの。

2 特別会計補正予算案 **△7,863万円**

(1) 人件費補正	△7,863万円
国民健康保険特別会計ほか4会計	△7,863万円

3 企業会計補正予算案 **369億4,993万円**

(1) 公営競技事業会計 **369億4,993万円**

モーターボート競走事業において、電話投票発売が好調なことなどから、当初を大きく上回る発売額が見込まれるため、払戻金及び関連経費の増額補正を行うもの。

4 繰越明許費 **68億4,633万円**

道路、河川、街路事業などにおいて、関係機関との協議に日時を要したことなどの理由により、年度内の事業の執行ができない見込みのものについて、全会計で68億4,633万円を繰り越すもの。